

【報告】「総合的な探究の時間」年間まとめ発表会を開催しました

2026年3月12日（木）、本校にて1年生・2年生合同の「総合的な探究の時間」年間まとめ発表会を開催しました。本校が推進する探究活動プログラム「高校生リング」の集大成として、学びの成果を全校生徒で共有しました。

1年生：クラス代表班が体育館で堂々のプレゼン

1年生は「地域理解」をテーマに、熊本の魅力や課題について調査・分析を行ってきました。グラフや図解を駆使したスライドを用い、自分たちが導き出した地域課題への解決策を堂々と発表しました。1年間の大きな成長を感じさせる内容となりました。

2年生：ビジネス視点で社会を変える「個人探究」の提案

各クラスの選考を勝ち抜いた代表9名によるプレゼンテーションが行われました。2年生は「個人探究」として、商業高校での学びを活かした具体的なビジネスプランや社会課題解決策を提案しました。発表順に沿った多彩なテーマは以下の通りです。

【2年生 代表発表タイトル】

1. パチっとアイスバンド（4組：田上 結葵）
2. カプセルトイ新サブスク Gacha+（6組：福山 愛華）
3. 地域振興について（5組：甲斐 春道）
4. 忘れる心配なし（8組：勝 愛鈴）
5. 高校生×農家 マッチングプロジェクト（1組：田端 はるか）
6. 学生向け海外旅行コンサルタント（3組：服部 宥成）
7. MINI MAFF 鼓膜を塞がない新発発想のイヤーマフ（7組：白井 実結）
8. 翻訳機能付きイヤークフ型イヤホン（9組：佐々 真紀斗）
9. AI my 私にあいみー（2組：森岡 慧伍）

いずれの発表も、既存の枠組みにとらわれない独創的なアイデアと、それを裏付ける緻密なデータ分析が光っており、参観した1年生からは「来年は自分たちもあんな高度な提案をしたい」という憧れと意欲の声が聞かれました。

専門家による講評と助言

発表終了後、外部審査員としてお招きした3名の専門家の方々より、温かくも鋭い講評をいただきました。

- 東海大学 文理融合学部 地域社会学科 准教授 内山 忠 様
- 株式会社リクルート 前田 直人 様
- 株式会社FieldinX 代表 堀田 朱乃 様

プロの視点からのフィードバックは、生徒たちにとって自分の探究を社会的な文脈で再確認する貴重な機会となりました。

探究のバトンを次年度へ

発表会の最後には、1・2年生全員がワークシートを用いてリフレクション（振り返り）を行い

ました。先輩の発表から得た「新しい視点」や、講師の方々からの「表現の工夫」を自分のものにし、次年度の活動へどう繋げるか。生徒たちは熱心にペンを走らせていました。

体育館という共有の舞台で互いの探究成果をぶつけ合った経験は、生徒たちにとって大きな自信となったはずです。本校ではこれからも、地域や社会と繋がり、自ら問いを立てて解決していく「自律的な学び」を大切にしていきます。

ご多忙の中、講評・参観を賜りました講師の皆様、誠にありがとうございました。